



雪あかりキャンドル

大倉山ジャンプ競技場で競技が行われた期間、会場へ向かうシャトルバスが通る沿線などをペットボトルによる「雪あかりキャンドル」で飾りました。これは、地元の宮の森大倉山連合町内会

が、選手や観客をもてなそうと企画・実施したもので、彩色したペットボトル約2,400本に火が灯されました。



大会期間中、大通公園西1～3丁目で「札幌にぎわいまつり」が開催されました。たくさんの子供が訪れ、チューブそりなどで冬の遊びを満喫していました。また、土・日曜日の昼には、1,000人分の豚汁や石狩鍋などを無料で提供する「大鍋ふるまい」が行われ、中央区連合町内会女性部の皆さんが力を合わせて調理しました。

札幌にぎわいまつり



3月7日（水）、曙会館（南11西10）で、曙地区連合町内会主催による「曙地区環境セミナー」が開催され、約60人が参加しました。

ドイツ人で札幌市環境保全アドバイザーのピアンカ・フルストさんを講師に迎え「得して楽しい環境保全～ドイツの事例を交えながら～」をテーマに講演が行われました。

曙地区環境セミナー



2月23日（金）、大通公園まちづくりセンター（北1西9）で、大通地区町内会連合会主催の「大通地区健康づくり教室」が開催され、同地区から約40人が参加しました。

今回の教室は、「更年期障害」と「メタボリック・シンドローム」をテーマに講演が行われました。

大通地区健康づくり教室

広告欄